



神山町ため池ハザードマップ

行者野池

総貯水量 : 5,000 m³

【神山町阿野字南行者野】



この地図は、当該ため池の堤体が決壊した場合に、ため池内の水により、浸水する箇所を予想し、最大深さでしめしたものです。

実際の氾濫解析の影響がある範囲は、ため池の貯水状況、周辺の土地利用状況等により、これと異なる可能性もあることにご留意ください。

浸水想定深について

3m以上の時

- 2階床面が浸水するため、2階建て住宅及び2階の住民は、避難が遅れると危険な状態に陥るため、避難情報のみならず、河川の水位情報等にも注意し、必ず避難所等の安全な場所に避難する。
- 高い建物の住民でも、浸水深が深く、水が引くのに時間を要することが想定されるため、事前に避難所等の安全な場所に避難する。

0.5~3mの時

- 1階の住民は、床上浸水となり、避難が遅れると危険な状態に陥るため、避難情報のみならず、河川の水位情報等にも注意し、必ず避難所等の安全な場所に避難する。
- 水・食べ物・貴重品などを2階以上に持つて上がる。
- 浸水が始まってからの避難は非常に危険なため、近くの丈夫な建物の2階以上に移動する。
- マンション等の高い建物に居住している場合は、無理に避難する必要はない。ただし、浸水が長時間継続した場合や孤立した場合の問題点について認識しておくことが必要である。

0.5m未満の時

- 地上が浸水すると地下に一気に水が流こんでて地下からの脱出は困難となる。
- 車での避難が危険な場合がある。
- 浸水の深さがひざ上になると徒歩による避難は危険。
- 避難が遅れた場合は、自宅等の上層階へ移動する。
- マンション等の高い建物に居住している場合は、無理に避難する必要はない。ただし、浸水が長時間継続した場合や孤立した場合の問題点について認識しておくことが必要である。

